

平成24年度  
文部科学省「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」

設置者名	学校法人 昭和大学
プログラム名称	<b>地域医療に貢献する臨床指導薬剤師の育成 ～10年後の地域医療に貢献する“将来の薬剤師”育成プログラム～</b>

**目的**： 昭和大学の近隣地域で実務実習の指導を担う薬局・病院の薬剤師を対象として、地域医療に貢献できる高い臨床能力と指導力\*を併せ持つ指導薬剤師の育成を目的とします。

\*高い臨床能力と指導力とは、本学薬学部ではエビデンスレベルの高い医薬情報源を収集・評価・提供し適切な薬物療法を実践でき、患者情報を収集し副作用モニタリングやトリアージなどの疾患の鑑別、トリアージプランの立案能力と疾患への対処能力、患者や医療スタッフらとの十分なコミュニケーション能力と適切なリーダーシップ力を想定しています。

**本プログラムの概要**： 本事業は、本学の薬・医・歯・保健医療学部と8附属病院および地域の薬局、診療所、訪問看護ステーション等の支援の下、大学の近隣地域で実務実習の指導を担う薬局・病院の指導薬剤師を対象として、在宅医療やセルフメディケーションなどを通じて地域医療に貢献するために

- ① チーム医療実践能力
- ② 薬学的管理能力
- ③ 臨床判断・トリアージ力
- ④ ファシリテート実践能力



学部横断型  
研修プログラム



臨床判断能力  
養成プログラム

を求められながら、今までこれらの能力を習得する機会がなかった指導薬剤師を対象に、本学4学部と附属病院および地域の医療機関の人的・物的資源を活用し、学部教育で培ってきたチーム医療を体系的・段階的に学ぶ学習システムや電子ポートフォリオを用いた教育システムを基礎にして“病棟や在宅医療現場におけるチーム医療参加型研修”や“臨床判断能力や指導力向上研修”を通じ臨床能力と指導力を育成します(図1)。

研修には随時、登録することができ、スタンプラリー方式でポイントを取得します。規定以上のポイントを取得し、最終プログラムの「学部横断型研修プログラム」を研修して修了となります。修了者には修了証を発行します。

**対象**： 薬学5年生実務実習を担当する薬局および病院薬剤師、将来、開局を目指す医薬情報担当者(MR、ただし薬剤師免許取得者に限る)、退職後の初期研修を希望する薬剤師免許取得者。  
すべてのプログラム、研修期間を完遂していただくなくても結構です。ご自身の目的とするプログラムのみの参加やご都合のよい研修日時をお選びください。

**実施期間**： 平成24年9月1日より平成27年3月31日まで（プログラムの一部は継続して研修可能です。）

**研修・参加費**： 無料（ただし、一部プログラムは所定の参加費が必要です。本プログラムが主催する大多数のプログラムは無料です。）

問い合わせ先：「地域医療に貢献する臨床指導薬剤師の育成」事務局（山本 仁美）

電話：03-3784-8142 FAX：03-3784-8576

メール：[p-cpt@pharm.showa-u.ac.jp](mailto:p-cpt@pharm.showa-u.ac.jp)

事業責任者：山元 俊憲(昭和大学 薬学部 薬学部長、薬物療法学講座 臨床薬学部門 教授)

実施責任者：加藤 裕久(昭和大学 薬学部 薬物療法学講座 医薬情報解析学部門 教授)

電話：03-3784-8408 FAX：03-3784-8576

メール：[yaskato@pharm.showa-u.ac.jp](mailto:yaskato@pharm.showa-u.ac.jp)

副実施責任者：沼澤 聡(昭和大学 薬学部 生体制御機能薬学講座 毒物学部門 教授)

#### 研修方法：

##### <スタート>

- ・本プログラムホームページの[参加申込フォーム](#)より登録(随時)

(参加申し込みフォーム URL:[https://www2s.showa-u.ac.jp/yakuzaishi\\_ikusei/opinion-0001.html](https://www2s.showa-u.ac.jp/yakuzaishi_ikusei/opinion-0001.html))

↓

問い合わせ先:電話(03-3784-8142) FAX(03-37848576)

↓

- ・IT 支援システムに参加 (電子ポートフォリオシステムへの登録およびポートフォリオの作成)

- ・**◆研修可能プログラム**(下記参照)に随時参加

↓

- ・研修スタンプ 80 ポイント以上(★必修 14 ポイント以上)を取得し、自己評価アンケート(レポートを含む)を提出(1ポイント/時間)

- ・一部プログラム<sup>\*1</sup>では日本薬剤師研修センター発行の認定シールの取得可(2単位/3時間)

- ・ファシリテーターとして参加する場合、事前打ち合わせ時間も研修スタンプを発行(2ポイント/時間)

↓

- ・**◆学部横断型研修プログラム**に参加 [40 ポイント以上、自己評価アンケート(レポートを含む)を提出]

↓

##### <ゴール>

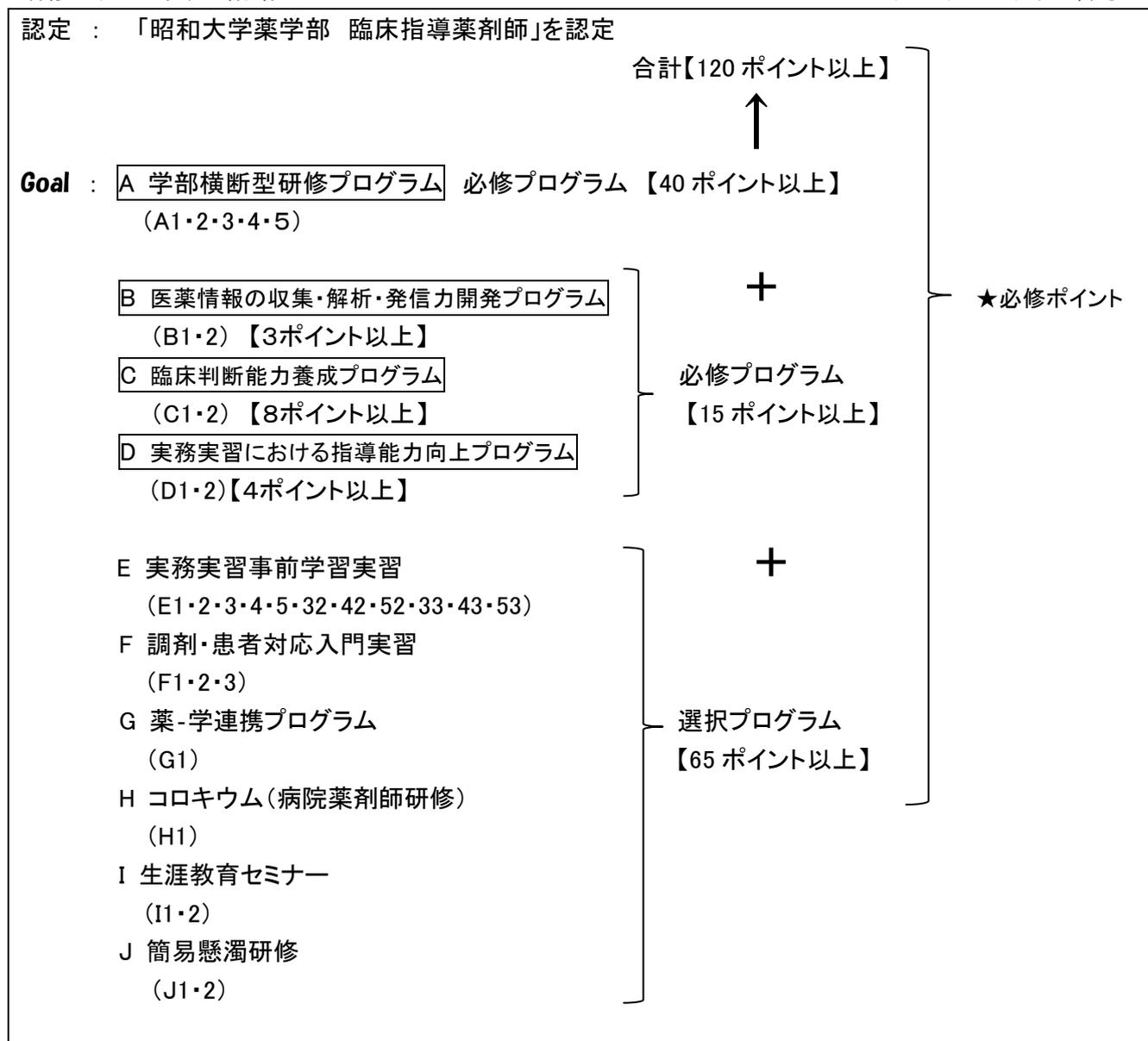
- ・最終評価 (研修スタンプ 120 ポイント以上取得し、電子ポートフォリオ、自己評価アンケート(レポートを含む)を提出)

- ・研修修了証「昭和大学薬学部 臨床指導薬剤師」(ポイント表記)を授与

<sup>\*1</sup> 日本薬剤師研修センター発行の認定シールの取得可能プログラム:「医薬情報の収集・解析・発信力開発プログラム」、「臨床判断能力養成プログラム」、「実務実習における指導能力向上プログラム」、「薬-学連携プログラム」、「コロキウム」、「生涯教育セミナー」、「簡易懸濁研修」など

研修スタンプラリー概略 :

( ):プログラム番号



研修可能プログラム :

プログラム名	研修日数 (ポイント数)	研修可能日 あるいは期間	研修概要	プログラム 責任者
<b>A</b> 学部横断型 研修プログラム ★40 ポイント	5日間「学部連携病 棟実習」 (8/8時間)	I 期:平成 25 年 7 月 1 日～7月 5 日 9時～17 時 II 期:平成 25 年 11 月 25 日～11 月 29 日 9時～17 時	本学附属8病院において学生と研修 者が複数学部混合型グループを編成 し、専門領域の高度な医療を行う多職 種の医療チームに加わり、医療スタッ フと共に討議により情報を共有し、連 携・協力して可能な範囲内で適切な治 療療およびケアについて提案・実践し	木内教授 (薬学教育 学)

		III期:平成 25 年 ○月○日～○月 ○日9時～17 時	ます(学部連携病棟実習)。さらに、高 齢患者や難病患者等を対象に地域医 療をチーム医療で実践している診療 所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステ ーション等を参加型で1週間研修しま す(学部連携地域医療実習)。研修者 は、病棟患者の薬物療法について調 査・提案し、グループ討議を実践しま す(学部連携アドバンス病院実習)。	
	5日間「学部連携地 域医療実習」 (8/8時間)	平成 25 年○月○ 日○時～○時		
	5日間「学部連携ア ドバンス病院実習」 (8/8時間)	平成 25 年○月○ 日○時～○時		
	ファシリテーターとし て参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
<b>B</b> 医薬情報の 収集・解析・発 信力開発プログ ラム ★3ポイント	3/3 時間	平成 24 年 12 月 22 日(土)15 時～ 18 時 平成 25 年 2 月 23 日(土)15 時～18 時	情報源の批判的吟味やエビデンスレ ベルの確認などを模擬症例、Web デ ータベースを用いて SGD 形式または 薬-薬-学連携支援システムを活用して 実施します。	加藤教授 (医薬情報 解析学)
	地域薬剤師会出張 研修 2/2 時間	未定		
	ファシリテーターとし て参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
<b>C</b> 臨床判断能 力養成プログラ ム ★8ポイント	「薬剤師の臨床判断 能力養成プログラム 症候からの鑑別・トリ アージ～頭痛を訴え る患者の疾患の推測 と対処法の提案～」 (4/4時間)	平成 24 年 11 月 17 日(土)13 時～ 17 時	薬剤師(薬局・病院)によるフィジカル アセスメントなどの患者情報の収集、 副作用モニタリングやトリアージなどの 疾患の鑑別、トリアージプランの実施 など、疾患の対処法の修得を支援しま す。少人数制によるSGDと実技や演習 を実施します。	亀井講師 (医薬品評 価薬学)
	「フィジカルアッセメ ント」 (4/4時間)	平成 25 年 3 月 16 日(土)13 時～17 時		
	ファシリテーターとし て参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
<b>D</b> 実務実習に おける指導能 力向上プログラ ム ★4ポイント	「第2回 昭和大学病 院実習指導者ワーク ショップ」病院編 (4/4時間)	平成 25 年 1 月 26 日(土)13 時～17 時	指導薬剤師と学生間で発生するトラブ ル対応や指導薬剤師が学生らへフィ ードバックする際の PNP (Positive-Negative-Positive) 手法をロ ールプレイにより修得します。そして、 PBL 形式を用いたリーダーマネジメ ント教育を学習します。特に、グループ	山口准教 授 (生物化学)
	「第1回 昭和大学病 院実習指導者ワーク ショップ」薬局編	平成 25 年○月○ 日(土)13 時～17 時		

	(4/4時間)		の中に討議の進行や意見の集約等を行うリーダーをローテーションで担当し、ファシリテートの内容について大学教員や研修者からのフィードバックを受けます。	
	ファシリテーターとして参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
<b>E</b> 実務実習事前学習実習	1日間「始めるにあたって実習」(6/6時間)	平成24年10月9日10時～17時	4年次薬学生と共に始めるにあたって実習(SOAPのまとめ方など)、DI実習、リスクマネージメント・注射実習と模擬病棟実習を研修します。さらに、研修者自らが指導することにより学習効果を高めます。	原教授 (衛生薬学)
	1日間「DI実習」(6/6時間)	平成24年10月・10・11・15日10時～17時		
	7日間「薬局実習」(6/6時間)	平成24年10月16～25日・10月29日～11月7日・11月16～28日)10時～17時		
	7日間「リスクマネージメント・注射実習」(6/6時間)	平成24年10月16～25日・10月29日～11月7日・11月16～28日)10時～17時		
	7日間「模擬病棟実習」(6/6時間)	平成24年10月16～25日・10月29日～11月7日・11月16～28日)10時～17時		
	ファシリテーターとして参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
<b>F</b> 調剤・患者対応入門実習	3日間「コミュニケーション実習」(4/4時間)	平成25年〇月〇～〇日・〇月〇日～〇月〇日・〇月〇～〇日・〇月〇～〇日)13時～17時	3年次薬学生と共に <u>コミュニケーション実習、DI実習、臨床薬物動態実習</u> を研修します。さらに、研修者自らが指導することにより学習効果を高めます。	山元教授 (臨床薬学)
	3日間「DI実習」(4/4時間)	平成25年〇月〇～〇日・〇月〇日～〇月〇日・〇月〇～〇日・〇月〇～〇日)13時～17時		
	3日間「臨床薬物動	平成25年〇月〇		

	態実習」(4/4時間)	～○日・○月○日～○月○日・○月○～○日・○月○～○日) 13時～17時		
	ファシリテーターとして参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
G 薬-学連携プログラム	2時間 (2)	平成24年 10月18日 19時30分～21時30分	薬局実務実習内容の質の向上を図り、地域の実習チームリーダーの養成することを目指しています。	赤川講師 (地域医療薬学)
	3時間 (3)	平成25年2月16日 15時～18時		
	ファシリテーターとして参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
H コロキウム (病院薬剤師研修)	3時間 (3)	平成25年4月20日 14時～17時	病院薬剤師業務の質の向上を図るための参加型のワークショップです。	向後講師 (薬学教育学)
	ファシリテーターとして参加(2/時間) <sup>※2</sup>			
I 生涯教育セミナー	4時間 (4)	平成25年○月○日○時～○時	臨床的課題を中心に専門家による講義を受講します。	大井准教授 (薬学教育学)
J 簡易懸濁研修	○時間 (○)	平成25年○月○日○時～○時	適切な簡易懸濁法の普及に向けた取り組みについて、専門家による実習を実施します。	倉田准教授 (薬剤学)

<sup>※2</sup> 事前の打ち合わせ時間もポイントの取得が可能(2ポイント/時間)

★必修ポイント

研修方法：

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修修了スタンプ数(スタンプラリー方式) → 80ポイント以上(★必修 15ポイント以上)</li> <li>● 電子ポートフォリオ、自己評価アンケート、レポートを提出。</li> </ul>
↓
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学部横断型研修プログラム 研修 → スタンプ 40ポイント以上</li> <li style="padding-left: 100px;">→ 自己評価アンケート、レポートを提出。</li> </ul>
↓
↓
<p>研修修了(実務実習インストラクター 発行) → スタンプ 120ポイント以上、電子ポートフォリオ、自己評価アンケート、レポートをすべて提出。</p>

# 10年後の地域医療に貢献する“**将来の薬剤師**”を養成

医系総合大学と地域の連携による実務実習の質の向上 (養成人数 100 人)

## “4つの力 (COMPETENCY)”

### “チーム医療を担う能力”

#### 学部横断型 研修プログラム

- ・昭和大学8附属病院診療所と地域の在宅医療施設を活用
- ・薬・医・歯・保健医療学部学生と共に SGD 形式で参加型研修
- ・専門的知識の共有、チーム医療と指導者の役割を体感

### “臨床判断・トリアージ能力”

#### 参加型グループ学習による臨床判断能力養成プログラム

- ・在宅医療、薬局でのプライマリケアの実践力養成
- ・症候学に基づく医療面接手法とフィジカルアセスメント能力の修得
- ・適切なトリアージとセルフメディケーション支援の実践

### “薬学的管理能力”

#### 医薬情報の収集・解析・発信力開発プログラム

- ・適切な薬物療法や医療安全対策を実践するための知識・技能・態度の修得
- ・医薬情報の批判的吟味能力の修得
- ・医薬情報の活用能力の醸成

### “ファシリテート実践能力”

#### 実務実習における指導能力向上プログラム

- ・ロールプレイによる実践的コミュニケーション能力の養成
- ・PBL 形式を用いたリーダー、マネジメント実践能力の修得

本プログラムの取り組み

### IT 支援システムの活用 (電子ポートフォリオ、薬-薬-学連携支援システム)

#### 連携



- ・実務実習施設 (薬局: 約 200 施設/年 附属病院: 約 130 病棟/年)
- ・大学を拠点とした地域医療提供施設 (東京都・神奈川県内)
- ・病院薬剤学講座 (昭和大学病院薬剤部)

#### これまでの実績

- ・学部連携病院・地域実習 (6年次学部生を対象) (H23 年度～) 約 30 人履修
- ・薬-学連携プログラム (教員・実務実習指導薬剤師を対象) 21 回 約 600 人受講
- ・スキルアップセミナー (病院薬剤師・教員を対象) (H21 年～) 4 回 約 120 人受講
- ・生涯教育セミナー (病院・薬局薬剤師、教員を対象) 44 回 約 7000 人受講
- ・城南地区薬剤師セミナー (病院・薬局薬剤師、教員を対象) 30 回 約 4500 人受講

図1 「地域医療に貢献する臨床指導薬剤師の育成」の概要

4 年 目 以 降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの対象地域の拡大</li> <li>・養成人数の増員</li> <li>・薬局-大学-病院による共同運営</li> <li>・プログラムの検証と改善</li> </ul>			
3 年 目	<p><b>活動報告(地域薬剤師へのフィードバック)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子ポートフォリオ、自己評価アンケート、レポートを用いた評価と発表会 [1回]</li> <li>・シンポジウムの開催 [1回]</li> <li>・アンケート調査によるプログラムの検証と改善</li> </ul> <p><b>A 学部横断型研修プログラム(本学4学部学生と`共に学ぶ参加型学習`)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学8附属病院における病棟参加型研修 [5日間]</li> <li>・診療所と在宅医療の研修 [5日間]</li> </ul>	<b>IT 支 援 シ ス テ ム の 活 用</b>		
2 年 目	<p><b>D 実務実習における指導能力向上プログラム</b> [1日間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的コミュニケーション研修(トラブル対応、PNPの実践)</li> <li>・PBL形式のリーダー、マネージメント研修</li> </ul> <p><b>E 実務実習事前学習実習での研修・指導参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント・注射実習 [7日間]</li> <li>・模擬病棟実習 [7日間]</li> <li>・DI実習 [1日間]</li> </ul>		<p><b>C 参加型グループ学習による臨床判断能力養成プログラム</b> [2日間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者情報の収集</li> <li>・副作用モニタリング</li> <li>・代表的な症候の臨床判断</li> <li>・適切な対処方法の提案</li> <li>・臨床手技(AED・ACLS)</li> </ul>	<p><b>B 医薬情報の収集・解析・発信力開発プログラム</b> [半日間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データベース、ガイドライン等の活用</li> <li>・SGD形式の情報源の批判的吟味</li> <li>・PDA(情報携帯端末)の臨床現場での活用</li> <li>・アプリケーションソフトの評価</li> </ul>
1 年 目	<p><b>F 調剤・患者対応入門実習での研修・指導参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション実習 [3日間]</li> <li>・DI実習 [3日間]</li> <li>・臨床薬物動態実習 [3日間]</li> </ul>		<p><b>G 薬・学連携プログラム</b> [2回]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局実務実習の質の向上</li> <li>・地域の実習チームリーダー養成</li> </ul> <p><b>H コロキウム</b> [半日間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院薬剤師セミナー</li> <li>・病院実務実習の質の向上</li> </ul> <p><b>I 生涯教育セミナー</b> [2日間]</p> <p><b>J 簡易懸濁研修</b> [半日間]</p>	<p>[3年間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子ポートフォリオ</li> <li>・薬-薬-学連携支援システム</li> </ul>